

令和 4 年度

全国学力・学習状況調査

指宿市結果報告

令和4年度の全国学力・学習状況調査は、令和4年4月19日に実施されました。

文部科学省は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために、小学校6年生と中学校3年生を対象とした全国学力・学習状況調査を実施しています。

指宿市では令和4年度の調査に全小・中学校が参加しました。教育委員会及び市内の各学校では、この結果をもとに実態を把握し、学力向上に向けた取組を更に充実していきたいと考えています。

なお、この調査は小・中学校の実施学年、共に3教科のみの実施であることから、市内の全児童生徒の学力傾向を示しているわけではありません。全体的な傾向と出題された領域での課題を分析するものであることを御理解ください。

【調査実施日等】

(1) 調査の実施日は、令和4年4月19日木曜日

ア 小学校調査

教科に関する調査の調査時間は、国語及び算数それぞれ45分とし、児童生徒質問紙調査も実施した。

イ 中学校調査

教科に関する調査の調査時間は、国語及び数学それぞれ50分とし、児童生徒質問紙調査も実施した。

学力調査

(小学校)国語, 算数 (中学校)国語, 数学

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語、算数及び理科とし、中学校調査は、国語、数学及び理科とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

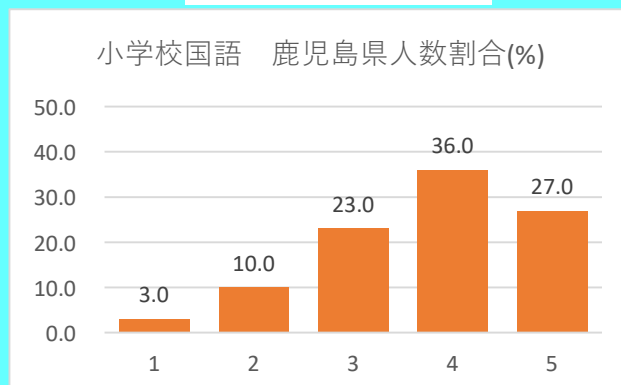
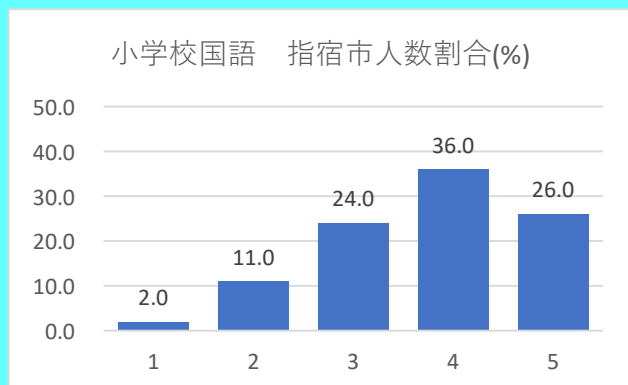
学習状況調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

《結果及び改善策の見方について》

市全体・県全体の平均正答率を5段階に分け、それぞれの段階の集団の割合を棒グラフに表しました。

- 1 ... 0～20未満
- 2 ... 20～40未満
- 3 ... 40～60未満
- 4 ... 60～80未満
- 5 ... 80～100



- ◆ 傾向
- つまずいている設問及び課題

- 改善策

平均正答率(例)	
指宿市平均	70
県平均	71
全国平均	70

グラフについての分析や傾向を簡潔に述べています。また、該当教科でつまずきのある設問を挙げ、課題を示しています。

今後の改善策を、小中学校のそれぞれの最後に述べています。

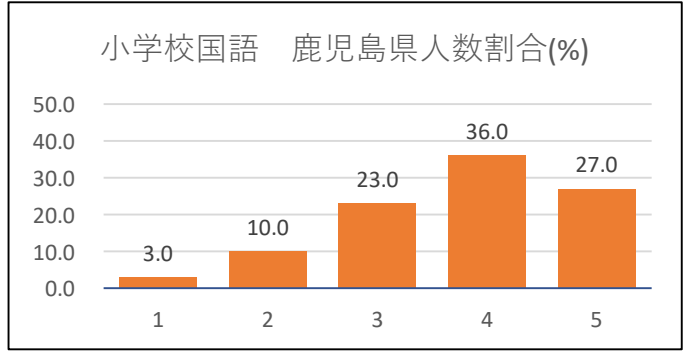
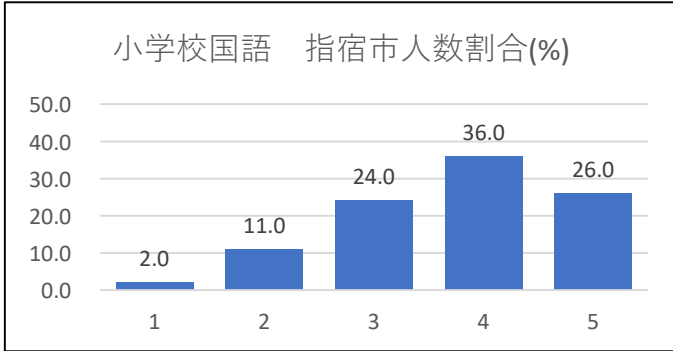
指宿市・鹿児島県・全国の平均正答率です。この平均正答率を結果として公表します。

★指宿市全体としての傾向や改善策

- ・徐々に学力向上への取組が結果となってきている。今後も継続的に取組の充実を推進したい。
- ・個に応じた学習活動を充実させることにより、より定着度を高める工夫が必要となる。
- ・教科により正答率にばらつきがあり、教科として現在求められている学力を精査し、指導内容の定着に向けた授業改善が必要となる。

《令和4年度 小学校調査の結果》

国語



◆傾向

鹿児島県の分布とほぼ同等の結果となり、全国平均正答率を上回った。

指宿市の児童の学力は鹿児島県において平均的な正答率となった。

●課題

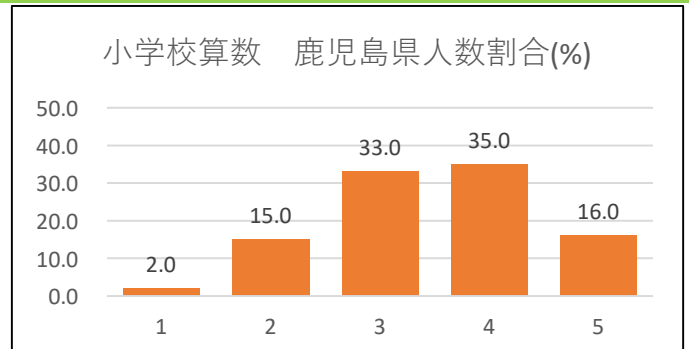
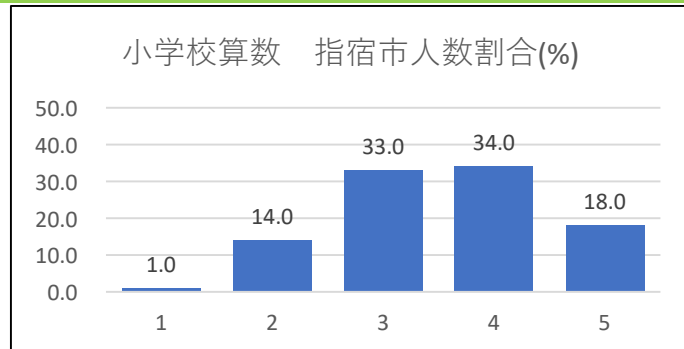
近年の取組の成果が徐々にあらわれてきているが、今後も継続して取り組む必要がある。また、取組についても見直し、児童の実態に応じた取組とする必要がある。

小学校国語 平均正答率	
指宿市平均	66
県平均	66
全国平均	65.7

●改善策

- ・授業力向上に向けた校内研修の充実
- ・「かごしま学力向上支援Webシステム」に掲載問題活用の徹底
- ・P D C A サイクルを用いた各校の学力向上プランへの取組の充実
- ・記述式問題の授業や家庭学習で取組みの充実

算数



◆傾向

平均正答率で、県平均を1%、全国平均を0.8%上回った。分布においても、改善傾向が見られ、鹿児島県の分布とほぼ同等の結果となった。

●課題

1・2段階の児童が少なくなり、5段階に分布する児童が多くなった。これまでの指導の改善が徐々に出てきていると考えられる。今後も児童の学力を確実に伸ばす手立てが必要である。

小学校算数 平均正答率	
指宿市平均	64
県平均	63
全国平均	63.2

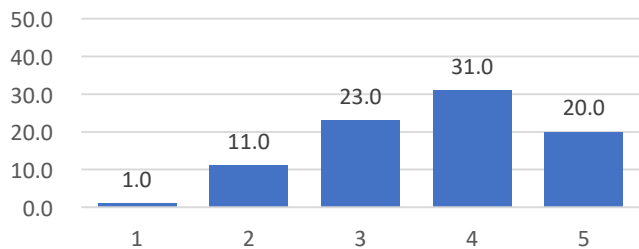
●改善策

- ・授業力向上に向けた校内研修の充実
- ・「かごしま学力向上支援Webシステム」に掲載問題活用の徹底
- ・P C 等を用いた個に応じた指導の充実
- ・計算力の確実な定着を目指した取組の充実

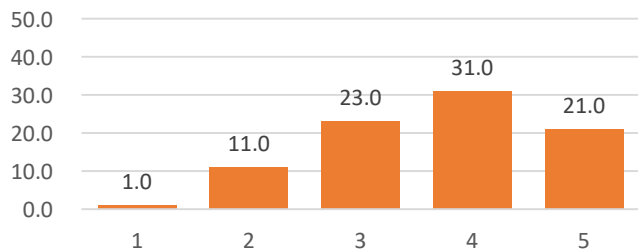
《令和4年度 小学校調査の結果》

理科

小学校理科 指宿市人数割合(%)



小学校理科 鹿児島県人数割合(%)



◆傾向

平均正答率で、県平均から4%、全国平均から3.7%上回った。これまでの授業改善が成果となった。分布においても鹿児島県と同等となった。

●課題

ほぼ鹿児島県人数割合と同様の結果となった。今後も、継続した取組により、成果を継続することが課題である。

小学校理科 平均正答率

指宿市平均	67
県平均	63
全国平均	63.3

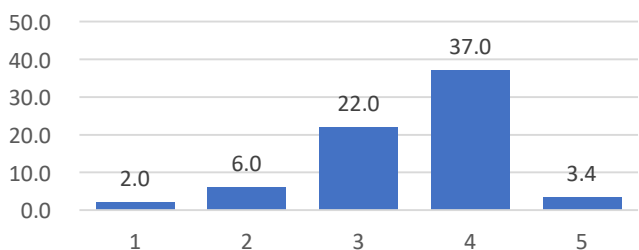
●改善策

- ・継続した授業力向上に向けた校内研修の充実
- ・「かごしま学力向上支援Webシステム」に掲載問題活用の徹底
- ・PC等を用いた個に応じた指導の充実

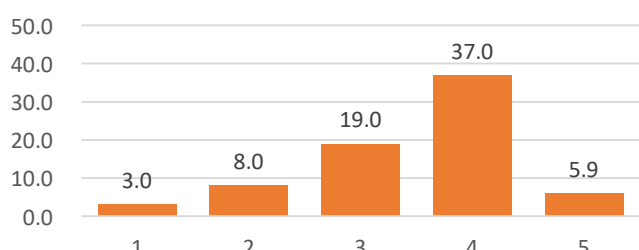
《令和4年度 中学校調査の結果》

国語

中学校国語 指宿市人数割合(%)



中学校国語 鹿児島県人数割合(%)



◆傾向

平均正答率で、県平均を1%、全国平均を1%上回った。これまでの授業改善が成果となった。分布では1・2段階はやや少ないが、5段階がやや少ない結果となった。

●課題

平均正答率は、僅かであるが全国平均・県平均を上回り、これまでの授業改善等が徐々に結果に反映されてきた。今後も継続して取り組む必要がある。

中学校数学 平均正答率

指宿市平均	70
県平均	69
全国平均	69

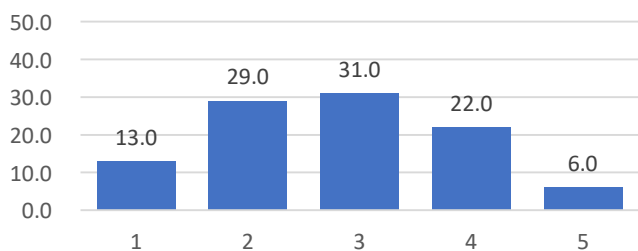
●改善策

- ・継続した授業力向上に向けた校内研修の充実
- ・「かごしま学力向上支援Webシステム」に掲載問題活用の徹底
- ・PC等を用いた個に応じた指導の充実

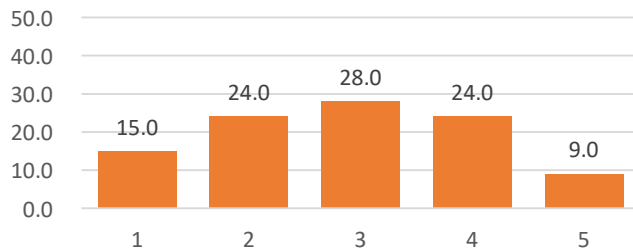
《令和4年度 中学校調査の結果》

数学

中学校数学 指宿市人数割合(%)



中学校数学 鹿児島県人数割合(%)



◆傾向

平均正答率で、県平均から2%、全国平均から6.4%下回った。

分布から2・3段階が多く、4・5段階が少ない傾向がある。

●課題

数学は、系統性が高い教科であり、既習の学習内容を十分に習得している必要があり、小中連携をいかした学習指導が必要である。

中学校数学 平均正答率

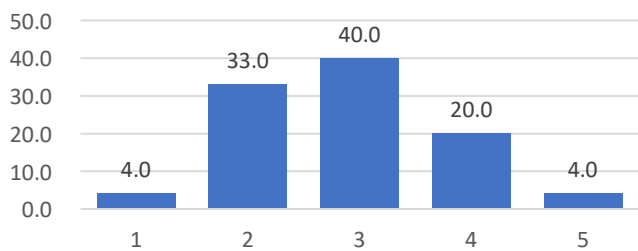
指宿市平均	45
県平均	47
全国平均	51.4

●改善策

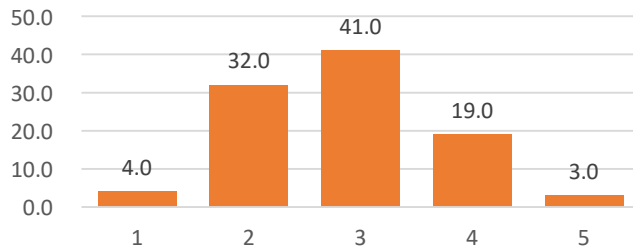
- ・授業改善により、意欲的に取り組む生徒の育成
- ・「かごしま学力向上支援Webシステム」に掲載問題活用の徹底
- ・PC等を用いた個に応じた指導の充実

理科

中学校理科 指宿市人数割合(%)



中学校理科 鹿児島県人数割合(%)



◆傾向

平均正答率で、県平均から3%、全国平均から0.7%上回った。

分布から2・3段階が多く、4・5段階が少ない傾向は県の分布と同様である。

●課題

県の分布状況と同様の傾向が見られる。他教科と比較して、2・3段階が多く、個に応じた指導により、4・5段階を増加させる手立てが必要となる。

中学校数学 平均正答率

指宿市平均	50
県平均	47
全国平均	49.3

●改善策

- ・授業改善により、意欲的に取り組む生徒の育成
- ・「かごしま学力向上支援Webシステム」に掲載問題活用の徹底
- ・PC等を用いた個に応じた指導の充実